

障害者権利条約絵本に

国連の障害者権利条約を
分かりやすく紹介した絵本
が発刊された。絵本作製を
思い立ち、文を手掛けたの
は、当事者代表の一人とし
て国連の委員会で条約起草
に関わった日本障害者協議
会代表で全盲の藤井克徳さ
ん(65) 東京都在住、福井
市出身。障害がある人の権
利と自由を守る条約の理念
をかみ砕いた言葉で伝えて
いる。

(伊藤直樹)



藤井 克徳さん

全盲の藤井さん(福井出身) 文担当

だれにとっても住みやすい社会に



願い込め、分かりやすく

藤井さんは養護学校教諭の「きょうされん」の活
動を経て、同協議会や共 動に参加。条約が守られて
同作業所全国連絡会(現在 いるかをチェックする内閣

府の障害者政策委員会の委員も務めた。
条約は2006年の国連総会で採択された。日本は障害者団体などの意見を踏まえ、障害者関連の法制度を整えた上で14年1月に批准した。
「それは、だれにとっても住みやすい社会となるでしょう。赤ちゃんにも、子どもにも、お年寄りにも、おなかに赤ちゃんがいる人にも」といった文に藤井さんの願いがにじむ。
絵は静岡県生まれの若手版画家、里圭さんが手掛けた。車いすに乗った人や白

建物や交通機関のバリアフリー化、地域社会で自立して暮らすのに必要な配慮や措置、教育や労働の権利の保障、文化やスポーツを楽しむ権利の保障、差別禁止をつたい、実現への取り組みを求めている。
絵本では条約が生まれたいきさつや、各国に批准の動きが広がったこと、日本が批准するまでの経緯、条文の意味を紹介。「条約が大切にされればされるほど、街の中で障害のある人
6743。
障害がある人の人権や自由を守る大切さを分かりやすく伝えている「えほん 障害者権利条約」

「えほん 障害者権利条約」は汐文社から出版。1620円。全国の主要書店で取り扱っている。
問い合わせは、きょうされん事務局 03(59)2444、あわら市文の意を「ハスの実の家」の具谷さん 0776(78)6743。